

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0601
施設名	きたしば保育園
施設所在地	西東京市芝久保町2-14-14
法人名	社会福祉法人 聡香会

1.活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

・園では、園庭やクラスの大きな窓から外を見て自然の音を聞く機会を設けたり、日々の遊びの中で楽器や歌に触れられるようにしている。日ごろから子どもたちは保育者と手遊び歌を手拍子して楽しむ姿や、自然の音や環境音にも反応して「何の音？」と興味を示す姿も見られた。また、ドアや机を叩いて大きな音が鳴ることを友だちと共有し、繰り返し行う姿も見られ、その姿を見て音の違いに興味を向けたり、音を作り出すことへの探求心を味わってほしいと思い、このテーマを選んだ。

2.活動スケジュール

・令和7年9月から令和8年1月（月1回実施）

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・オノマトペの使われた絵本、太鼓やマラカス・木琴など様々な種類の楽器、新聞紙やペットボトルなど身近な素材、どんぐりや枯葉など散歩先での自然物を用意する。

4.探求活動の実践

<活動の内容>

・園内や戸外の音に耳を澄ませたり、音を探しに行く。用意した種類の異なる楽器に触れたり、素材や自分の体を使って音を出す。
・上記の活動を行ったうえで、自分で楽器を作り音を作り出す活動を行う。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

保育者が楽器を用意すると、電子ピアノで高い音と低い音を交互に弾いてみたりタンバリンや太鼓を強く叩いてみたりと楽器に触れている中で音の高さや大きさの違いに気づく姿がありました。散歩先では、「カサカサ言ってるね」と細い木を揺らしたり、グレーチングの上を並んで歩きながら金属の音・葉っぱの上を歩く音・砂利に靴がすれる音などを楽しみながら、「ざざざざ!」「カンって言った!」と音に反応していました。自分で楽器を作る時には、容器に入れるものを入れ替えながら何度も音を出して素材による音の違いを楽しんでいる姿も見られました。

*子どもの活動の様子は別紙参照

5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

「音」とテーマを決めて、子ども達が興味を持ちやすい内容で活動を行なったことで、子ども達も興味を持って取り組んでいました。楽器は保育者が用意したのですが、その中で、音の表現の仕方が一人ひとり違ったり、本来の使い方とは別の方法で音を出してみたりと子ども達の柔軟な発想から見られる姿が多くありました。また、回数を重ねていくごとに、子ども達も「音」に敏感に反応するようになり、微かな音にも「なんか聞こえる!」「何の音?」と耳を澄ませたり、関わりの中でオノマトペを使い楽しい気持ちを表したりする姿から、日々の保育者の関わりや活動内容の重要性を再確認しました。

すくわくプログラム9月

様々な楽器に触れてみよう



しろ組はすくわくプログラムの活動として「音」をテーマに進めていきます。9月は、ウクレレ・タンバリン・電子ピアノなど種類の異なる楽器を用意し、実際に触れて音を出してみました。活動の前に、楽器の使い方や扱い方を説明すると、子ども達はそれぞれの音色を聴きながら保育者の説明もしっかりと聞いていました。



カスタネットを叩いて何度も音を出しています



音の出る仕組みが気になったのか、開いて中を見たり触ったりしていました



カリンバという楽器です。指で金属のキーを弾いて音を出します。オルゴールのような優しい音色が響きます



保育者の真似をして、ウクレレの弦を優しく弾いていました。小さな音が響くと、何度も指を動かして音を出そうとしています

トライアングルの金属の部分を持って叩いても、音が響かない事に気付いて保育者に「ならないよ」と話していました



何度も行ううちに、人差し指で弾くと音が鳴りやすい事に気づき、力強く弾いていました。





最初は一人一人好きな場所で楽器を鳴らすことに集中していましたが、後半では友達の上に持って行き、一緒に音を奏でていました。友達の演奏を見ながら音の違いに気付いたり、音を組み合わせたりして楽しんでいました。



自分の弾いた場所が光るので、視覚的にもわかりやすく音と光を感じながら弾いていました。

弾いた場所によって音の高低差があることに気づき、色々な場所を弾いて音を試しています。



太鼓を叩く強さや、場所によって音の鳴り方が違うことに気づき、色々な叩き方を試しています



タンバリンを叩いて音を出しています。途中で叩く強さを変え、大きな音が鳴るのを楽しんでいました。



子ども達は興味のある楽器に触れて、思い思いに音を鳴らしていました。その中で、強く叩いて大きな音を出したり、電子ピアノで一番高い音を弾いたり音の高さや大きさの変化に興味を持つ姿が見られました。また、保育者の歌に合わせて音を鳴らし、リズムに乗ろうとする様子もありました。最初は一人ひとり集中して楽器に触れていましたが、後半には友だちと「見ててね」と音を聴かせあったり、一緒に演奏をして音が重なる事を楽しんでいました。

今後も様々な音に触れられる活動や、自分で音を探す活動を取り入れながら、子ども達の「音」への興味関心を深めていきたいと思っています。

手作り楽器を鳴らしてみよう

ミルク缶を手やバチで叩きながら、裏返しにしたり側面を叩いたりと色々な場所を試していました。「こっち！」と大きく音が響いた底の面を上にして、何度も叩いていました。



鈴やドングリが入った容器を振った後、ミルク缶の中に入れて一緒に振り、様々な音が混ざるのを聞いていました。

音を確認するように何度も振っていました。

おはじきやトウモロコシの種など中身が違うマラカスを振って音を聞き比べた後、二つを一緒に慣らして、音が重なるのを面白がっていました。

砂の入ったレインスティックを横向きに傾けて音が響くのを聞いています。

何度か繰り返した後に、レインスティックを縦に振り、響きの変化を楽しんでいる様子が見られました。

ドングリが入ってるよ♪





二つのマラカスを打ち合わせたり、
手で叩いてみたりして、
響きの違いを確かめていました。

水の量の違うペットボトルを叩き、耳を近づけて音の違いを確かめています。「なんか音が違うね！」と気づき、嬉しそうに話していました。



左手にマラカスを持ち、地面に鈴入りタンバリンや中身の異なるマラカスを置き、ドラムの様に一つずつバチで叩きながら、音の違いを聞き比べていました。



子ども達に馴染みのある素材を使った手作り楽器を用意し、音遊びを楽しみました。楽器を振ったり叩いたりしながら聞き比べている中で、音の変化に気付いて「違うね！」と伝える姿や、何度も鳴らして音を確認する姿が見られました。また、色々な楽器を組み合わせ鳴らしたり、振り方を変えるなど自分たちで工夫して音探しを楽しむ様子が見られました。

今後も様々な音に触れられる活動を用意し、日常の音にも耳を向けて発見できるような機会も大切にしていきたいと思っております。

すくわくプログラム 11月

音探し～身近な音に気付いてみよう～

「おお！おおきいおと！」



固いアスファルトの上に大きな石を落とすと、「ゴン」と鈍い音が鳴ることを面白がり、何度も落としていました。何度か繰り返した後、擦るように動かしてみたり、枝を使って叩いてみたりと色々試しながら音を発見していました。大きな音が鳴るたびに、近くにいるお友達と顔を合わせて面白がっている姿が見られました。



トントン♪



「はっばうごいたよ」



1人の子が枝で木の幹を叩き始めると、他の子も真似して叩くことを楽しんでいました。叩いた時の「トントン」と鳴る音を面白がり、顔を見合わせながら叩いていた子ども達。葉っぱのついた枝を叩いた子は、葉っぱが揺れて「カサカサ」と音が鳴るのを聞いて「なんかきこえる！」と嬉しそうに何度も叩いていました。

耳を済ませたら
どんな音が聞こえるのかな？



木の幹の中から聞こえるような、かすかな音や振動を感じ取ろうとしているのか、静かに耳をあてていた子ども達。

「何か聞こえた？」と聞くと「なにも聞こえない！」と言っていました。

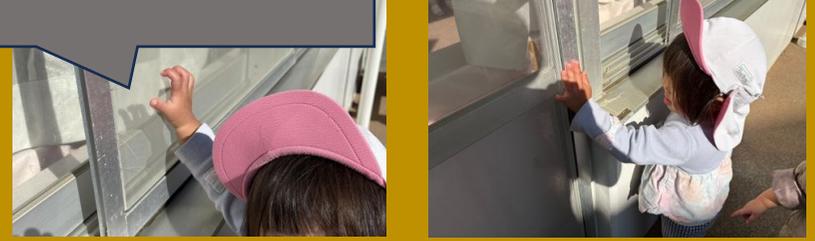
パリパリした！



公園の淵に並んだグレーチングの上を、友達を追いかけるように歩き、靴がすれて金属の音が鳴るのを楽しみ様子がありました。枯れ葉が集まった場所を何度も往復して踏みしめる子や、砂の上で足を滑らせるように歩いてみたりと、それぞれが思い思いに音の発見を楽しんでいました。

S

なんかちがう！みてて！



網戸に爪を立てるように触れて「カリカリ」と細かい音が響くのを聞いた後、網戸から窓に移動して同じように爪を立てていましたが、音が出にくいことに気付いた様子。指の腹で撫でてみたり、手の平で優しく叩いてみたりしながら、大きな音を出そうと色々試していました。

「ひこうきだー！」

「なんのおと？」



お山づくりでは、手のひらや道具を使って山を叩き、響く音を楽しむように何度もたたいていました。他にも、上空でヘリコプターや飛行機の音が聞こえるとすぐに気付き、「なんのおと？」と空を見上げて音の正体を探す様子も見られました。

子ども達は日常に潜む小さな音にも敏感に気づきます。個別活動で集中している時でも、落ちた豆の音の「コトツ」と鳴る音に反応して拾い上げたり、窓の外から聞こえる車の走る音に気付いて窓の近くへ寄っていく姿がありました。

今後も、子ども達が身の回りの音に興味をもって聞いたり、音の変化を発見する姿を大切にしながら、子どもたちが主体的に取り組む活動の中で、音の世界を広げていけるようにしていきたいと思えます。

すくわくプログラム 12月

～自然の音を楽しむ楽器作り～

散歩に行った時に
子ども達と一緒に拾い集めた
どんぐり・木の棒・葉っぱ・石
などの自然素材を使って
マラカス作りを行いました。



このどんぐりにする！

少しだけ素材を入れる子、蓋が閉まらなくなるほどたくさん入れる子、葉っぱや枝などいろいろ組み合わせながら入れる子など一人一人の個性が見られました！
どの子も完成すると嬉しそうにマラカスを振っていました。



完成したマラカスを
みんなで振ってみました！

子ども達にペットボトルを渡して自由に作れるよう見守ってみると、素材を入れた時の音を聞いたり、お友だちと一緒に鳴らして楽しむ姿が見られました。また、何度も素材を入れ替えながらその都度振って音を聞く姿も見られ、色々な音を楽しんでいました。
今回はマラカスを作りましたが、今後も子ども達が楽しく色々な音に触れたり発見したりできるような活動を考えたり、日々の生活の中で音に触れられるよう環境を整えていきたいと思います。



カラカラいってる！



保育者がどんぐりの中に
何か入っていると伝えると、
確かめるように耳元に近づけて
振っていました。

すくわくプログラム 1月

～手作り楽器を使って演奏してみよう～



前回の活動で作ったマラカスを使い、みんなで演奏してみました。

「おもちゃのチャチャチャ」と「どんぐりころころ」の2曲をピアノの伴奏に合わせて振ったり歌ったりして楽しみました♪



マラカスを両手に持ち、大きく振って音を出す子、1つのマラカスを両手で持って左右に傾けながら音を出す子、マラカス同士を叩き合わせる子など色々なやり方で音を出す姿が見られました。



演奏している中で、楽しくなってきた気持ちをお友だちと共有する姿も見られました。

「見て、ちゃちゃちゃ！」と声を掛けながらマラカスを振ってコミュニケーションを取っていました♪



マラカスの音を鳴らすだけでなく、歌いながら「コロコロ」と手を回したり「こんにちは」とお辞儀してみたりと歌詞に合わせた動きも付けながら音楽を楽しむ姿が見られました。



最初は自由にマラカスを振って楽しんでいた子ども達。少し経つと、隣にいるお友だちに振って関わりを楽しんだり、振り方を変えて様々な音の出し方を楽しんだりする姿が見られました。演奏を楽しんだ後に、「振ったらどんな音？」と聞くと「カラカラ!」「ちゃちゃちゃ!」「どんぐりの音!」等、マラカスの音に耳を澄ませながら答えてくれました。問いかけると音をじっくり聞こうとする姿が見られたり、音が聞こえるとすぐに反応したりなど、このすくわくの活動を通して子ども達の気付きも増えてきたように感じます。

今後も日々の活動の中で、歌や楽器の活動を取り入れたり、子ども達が音に興味を持てるような活動も用意したいと考えております。

